

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2022年1月28日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社富山環境整備

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：2022年1月 終了時期：2024年10月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標達成状況

本計画では、これまで埋立処理していた産業廃棄物（主に廃プラスチック、木くず、紙屑、金属などの混合廃棄物）を中間選別処理施設（以下、「高度選別センター」）で選別し、低発熱資源物（主に木、紙）と高発熱資源物（主に廃プラ）を取り出し、それらを一定の割合で混合して同一事業所内で稼働する焼却施設で助燃材として活用することで、重油使用量を削減することとしています。

2022年4月にプラスチック資源循環法が施行されたことから、2023年度に一般廃棄物処理施設（廃プラスチック類）の許可を取得しました。（産業廃棄物、一般廃棄物のどちらも処理が可能となりました。）容器包装リサイクル法の下で回収され、再商品化過程で発生する一定量の他工程利用プラスチック（マテリアルリサイクルに不適な資源物）を、自社焼却施設で助燃材として活用することで、焼却施設の安定稼働を実現し、重油使用量を56.5%削減することができました（計画時の目標値を上回る）。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2023年度の炭素生産性の目標値は253.6637（10.2%）に対し、実績は528.8749（129.8%）でした。焼却施設の安定稼働の実現による重油使用量削減（2023度に引き続き計画時の目標値（35.04%）を上回る56.5%削減を達成）と、昨年度と比較して営業利益の大幅な上昇にもかかわらず、CO2排出量が平年とほぼ変わらずCO2が事業全体として抑制できたことが結果に結びついたと考えています。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2023年度における有利子負債／キャッシュフロー倍率は▲2.3倍と10倍を下回っています。また、経常収入／経常収支は157.4となりました。

（4）実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

2022 年度において、全額自己資金（2,557,933 千円）により、事業適応計画の認定申請書別表 2-3(2)に記載した資産を全て取得しました。取得資産は予定通り事業供用し、中間選別処理および RPF 燃料の製造を実施しています。

また、投資した資産の 2022 年度中に事業供用した資産のうち、2,322,921 千円について CN 投資促進税制の適用（特別償却 50%）を受けました（取得した機械設備の一部（235,012 千円）については CN 税制を適用せず。）。